

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0409	産業情報発信事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
市内企業への就業意識の動機づけ及び経済活性化の誘引

《事業開始の背景》
市の主要産業が一堂に会して情報発信するイベントがなかったが、市の産業に対する市民の理解を深め、これからの花巻を担う若い世代へ情報発信をするため

《事業概要》
○はなまき産業大博覧会開催…実行委員会、企画検討、事業実施

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
①	はなまき産業大博覧会の入場者数	人	目標	-	52,000	
			実績	52,000	57,000	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	商工観光部	商工労政課	久保田謙一	388

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
財源内訳	事業費	25,000				
	国県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源		25,000				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

はなまき産業大博覧会実行委員会負担金 25,000 千円
市内の産業に対する市民の理解を深めるため、産業版「花巻まつり」として、広く市民に情報を発信し、本市産業の振興に資するとともに、これからの花巻を担う子どもたちの市内産業への興味や職業観の醸成により、地元企業への就業意識の動機づけを図る。

《内 容》

- ①花巻の産業の紹介
- ②産業（仕事）を実感できる体験
- ③ものづくりへの興味、職業観の醸成のための企画
- ④花巻の物産、特産品紹介、試食、販売等
- ⑤市民がともに楽しむイベント

《運営方法》 はなまき産業大博覧会実行委員会を組織し運営する。

《収支計画》 収入

項目	金額	摘要
負担金	25,000	花巻市
計	25,000	

支出

項目	金額	摘要
総務費	310	消耗品費、印刷費、通信費、報償費ほか
広報費	5,210	ポスター、チラシ、広告料ほか
事業費	12,030	パビリオン・実演・体験・イベント・物産ほか
会場設営	6,500	会場設営、電気工事、音響設備ほか
警備費	850	警備、清掃、保険ほか
予備費	100	
計	25,000	

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0409	産業情報発信事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	産学官連携と企業誘致による地場産業の確立
	1		1-2	
目的	市内企業への就業意識の動機づけ及び経済活性化の誘引			
対象	市民、事業者			
意図	職業観の醸成			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○はなまき産業大博覧会開催…実行委員会、企画検討、事業実施

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① イベント数	個		計画	1	1	
			実績	1	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① はなまき産業大博覧会の入場者数	人		目標	-	52,000	
			実績	52,000	57,000	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

主要産業が一堂に会して実施するイベントがなかったために市民の関心度も高く、来場者も多かった。また、思考を凝らしたブース、皆で楽しめるイベント等も多く、充実したイベントであった。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

アンケート結果、事業継続を希望する声が多かった。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市内産業の発展に資する事業は、市政発展にも直結することから、市が主体的に取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	まだまだ市民に認知されていない素晴らしい産業、職業、技術、商品、製品等が多くあることから、更なる情報発信により成果の向上を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	情報発信と集客を兼ね合わせた充実した事業を実施するために努めており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	全市民が参加できることから、受益機会は適正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

市内産業の情報を発信するため、新たにはなまき産業大博覧会を開催することにより、市内産業の周知が図られた。